

文法的逸脱表現「可能動詞＋やすい」の使用実態

高 原 愛

1. はじめに

本稿では、「従前の伝統的な形態及び用法」から逸脱した「文法的逸脱表現」（山田 2021）として「可能動詞＋やすい」を取り上げる。「～やすい」は日本語の難易文の一つであり、加藤（2001）では、難易文が「なにをすることがやさしいか困難か」、あるいは「ある出来事が起こる頻度が高いか低いか」を述べることから、動作や変化のない状態述語が難易文の述語となりえないと述べられている。しかし、Twitter を検索すると、次のような例が見受けられる。

- (1) 勇さん、まいちゃん今日はありがとたまたま会えたね！やっぱり会場が狭いと人と会えやすい!!! (Twitter の高度な検索:検索キー「会えやすい」／たあくん。@taaakunx2 2015 年 10 月 19 日)
- (2) やっぱいい事でも悪い事でも、言いたい事言うときは微量でも酒入れると言えやすい (Twitter の高度な検索:検索キー「言えやすい」／がしら@gashira_enxmvbs2018 年 1 月 24 日)

(1) の「会えやすい」と (2) の「言えやすい」の「会える」「言える」はいずれも可能動詞であり、可能動詞は状態動詞であることから、加藤（2001）の主張からすると、これらは不適格な表現となるはずである。しかし、実際には (1) (2) のような使用例が見受けられる。このように「やすい」につく前項動詞は語彙的に制限されているはずだが、その制限を超えた用法への拡張が観察される。そこで、本研究では「可能動詞＋やすい」について、その使用実態を把握するための用例採集調査とアンケート調査を行い、前項動詞の制限に関する用法の拡張がどのような条件で生じ得るのかを明らかにする。

2. 研究の枠組み

佐野（2009）では進行中の言語変化に関する数量的研究という観点で、「ら抜き言葉」「さ入れ言葉」「れ不足言葉」といった現代日本語のヴォイスにおける進行中の言語変化について取り上げ、変化の進行の様相を述べている。佐野（2009）の研究では、国立国語研究所の『日本語話し言葉コーパス』（以下、CSJ）が用いられており、そこから用例を抽出し、場面や話者、活用、モーラなどの性質に関する数量的分析と、話者の生年から経年変化に関する数量的分析がなされている。

そこで、「可能動詞+やすい」及び「可能形+やすい」についてCSJで検索したが、用例は確認できなかった¹⁾。CSJは学会講演、模擬講演、朗読が主な会話データであり（前川2004）、話しことばのなかでも日常会話よりフォーマルな場面での会話を収録したものであるといえる。先に見たようにTwitterには例が見られることから、「可能動詞+やすい」はフォーマルな話しことばではなく、よりカジュアルな話しことばの中で使用される表現であることが示唆される。CSJのほかにも、国語国立研究所の『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（以下、BCCWJ）で、個人のカジュアルな言語使用が表れやすいレジスターとして、「Yahoo! 知恵袋」「Yahoo! ブログ」に絞り検索を行ったが、こちらでも用例は確認されなかった²⁾。

佐野（2009）の研究ではCSJにおいて「ら抜き言葉」「さ入れ言葉」「れ不足言葉」の用例が確認されているわけであるが、「可能動詞+やすい」は、「ら抜き言葉」「さ入れ言葉」「れ不足言葉」よりもまだ出現頻度が低く、文法的逸脱表現として広く認識されるほど目立つような表現でもないことがわかる。現在用例が確認できるのはTwitterであるので、用法の拡張条件を確認するにあたっては、Twitterで収集した用例を分析することにする。

Twitterを用いた言語研究には、宇野（2015）や水野（2017）がある。これらは接尾辞ミを用いた新しい表現についての研究であり、宇野（2015）では名詞に後接する新しいミ形の語数をTwitterで調査し、使用の拡大について述べている。水野（2017）では名詞に限らず新しいミ形についてTwitterで調査しており、名詞以外の品詞にも使用が拡大していることを明らかにしている。このように「文法的逸脱表現」の使用の動態を明らかにするためにTwitterの調査を行う研究は昨今盛んになっており、本稿もそれに倣ってTwitterの用例採集調査を行い、使用傾向と現れる表現の特徴を分析する。また、アンケート調査によって話者の使用意識を分析する。

3. 先行研究

3.1 可能が担う意味

可能について述べられている研究には、加藤（2003）がある。加藤（2003）は可能の意味用法には二種類あるとしている。一つは、「あることを遂行する潜在的能力を有する」という恒久的属性表現である〈能力〉と呼ばれるものである。もう一つは「個別の動作遂行における実現の可否」といった特定時点における、一回的・一時的な個別表現であるかのような捉え方に結びつきやすい〈可能〉である。(3)に〈能力〉、(4)に〈可能〉の例を示す。

(3) 読めません。だって、イタリア語は知らないから。

(4) 今日は海も穏やかなので、泳げるぞ。 (以上、加藤 2003)

(3) は習得された内在的能力が可能・不可能に関わる要因であり、(4) では状況が要因である。本稿では、前者を《能力可能》、後者を《状況可能》と呼ぶこととする。

可能の意味を細かく分類した研究には渋谷（1993）がある。渋谷（1993）で述べられている制約条件を以下にまとめておく。

表1 可能の意味（渋谷 1993）

(i) 心情可能	動作実現のための条件が、主体の心情・性格・勇気などにある場合。 例) そんな派手なセーターは、はずかしくて大勢の人のいるところでは <u>着て</u> られない。
(ii) 能力可能	動作実現のための条件が、主体のもつ（体力・技術的な）能力にある場合。 例) ほくは一生懸命勉強したから十分英語が <u>話せる</u> 。
(iii) 内的条件可能	動作実現のための条件が、主体内部の「一時的な」気分的・肉体的条件にある場合。 例) 今は足に怪我をしているからジョギングは <u>できない</u> 。
(iv) 外的条件可能	動作主体の能力いかにかわらず、動作実現のための条件が、主体を取り巻く外的世界にある場合。 例) この着物は小さくなったのでもう <u>着られない</u> 。
(v) 外的強制条件可能	動作実現のための条件が動作主体の外部にある点では(iv) 外的条件可能と同じであるが、その外部条件が動作主体の意志の介入を全く許さないかたちで働く場合。 例) あの山をみるといつも故郷のことが <u>思い出される</u> 。

(v) 外的強制条件可能は、慣用的には「自発」と呼ばれ、厳密には「可能」の意味は表さない。しかし、可能表現の変遷過程に深くかかわっていることと、可能と連続した意味を表すことから取り上げられている。

3.2 「～やすい」が担う意味

次に、日本語記述文法研究会編（2009）における難易文（難易構文）についての記述を確認する。日本語記述文法研究会編（2009）によると、難易構文とは、「事態の実現において困難さがどの程度存在すると話し手が考えているかを表す」表現である。また、「事態の実現が容易であることを表す表現」として「(し) やすい」があり、「意志動詞に付加される場合、動作の達成に対し困難な状況が存在しないなど、動作が容易に実現することを表す」と述べられている。これを本稿では《容易》と呼ぶこととする。以下に例を示す。

(5) この会社は、いつでも休みを取りやすい。《容易》

(日本語記述文法研究会編 2009)

また、「無意志動詞に付加される場合、事態が実現する頻度が高かったり、実現までの時間が少なかったりすることを表す」と述べられている。これを本稿では《傾向》と呼ぶこととする。以下に例を示す。

(6) 雪道はすべりやすい。《傾向》

(7) 体内にこの酵素を持っている人は太りやすい。《傾向》

(以上、日本語記述文法研究会編 2009)

3.3 難易文と状態述語

難易文と共起する述語について述べられている研究には、加藤（2001）がある。加藤（2001）では動作や変化のない状態述語が難易文の述語となりえないと述べられている。これについてさらに詳しく見ていく。

(8) ～(12) は難易文の述語として状態述語を用いているものだが、いずれも難易文の述語としては不適格である（*は不適格であることを示す）。

(8) *よく気が付く子にはたいてい弟妹がやすい。

- (9) *大学には立派な図書館がたいていありやすい。
 (10) *日本の書類にはたいてい印鑑が要りやすい。
 (11) *本好きの子は難しい漢字も読めやすい。
 (12) *帰国子女は語学ができやすい。

(以上、加藤 2001)

ただし、(13) ~ (16) のように一見、状態述語と結びついているように見えるものがあるが、「状態性」を吟味することで説明がつく。

- (13) 天気の悪い休みの日はなんとなく家にいやすい。
 (天気の悪い休みの日はなんとなく家にいることが多い。)
 (14) 塾の自習室はこどもたちが夜中まで勉強していやすい。
 (塾の自習室はこどもたちが夜中まで勉強してられる。/塾の自習室はこどもたちが夜中まで勉強していることが多い。)
 (15) 最近の女性は野菜不足でにきびができやすい。
 (最近の女性は野菜不足でにきびがすぐに見える。)
 (16) 初学者にはこの参考書が分かりやすい。
 (初学者にはこの参考書がよく / すぐに分かる。)

(以上、加藤 2001)

(13) (14) の「いる」は、典型的な状態性である存在を表すものではなく、意志を持ってそこにとどまるというニュアンスの「いる」であるので、状態的ではない。(15) の「できる」は可能の意味ではなく、発生の意味の「できる」であり、変化を表すという点で状態動詞であるとは言えない。(16) の「分かる」も「理解をする / できるようになる」という意味で単純な状態とは言えない。

以上のことから、難易接辞の前に来る述語というのは、可能形（を含む状態述語）ではあり得ないということができる。

3.4 可能と「やすい」の意味範囲

ここまで可能と難易文についての先行研究を概観した。「~やすい」は意志動詞に付加される場合、動作の実行に対し困難な状況が存在しないなど、動作が容易に実現することを表し、無意志動詞に付加される場合、事態が実現する頻度が高かつ

たり、実現までの時間が少なかったりすることを表す。そして、動作や変化のない状態述語は難易文の述語となり得ない。

「可能」については、「あることを遂行する潜在的能力を有する」という《能力可能》と、「個別の動作遂行における実現の可否」という《状況可能》の二つの意味がある。《能力可能》は恒久的であるのに対して、《状況可能》は一時的・一時的な個別表現であるかのような捉え方に結びつきやすい。これらのことから考えると、「やすい」に「可能」を表す動詞が前接する場合、動作や変化のある動詞を前に取る「やすい」には、恒久的な《能力可能》よりも《状況可能》の方が結びつきやすいと予測できる。

ここからは可能と「～やすい」それぞれが表すことのできる意味範囲について先行研究と内省から確認していきたい。まず可能は、あることを遂行する潜在的能力を有する《能力》、事態の実現要因が外的要因である《外的条件》、事態の実現要因が内的条件である《内的条件》を表すことができる。本稿では渋谷(1993)で言う、「心情可能」も《内的条件》に含める。(v) 外的強制条件可能については「自発」として捉え、本稿では可能に含めないこととする。それぞれの例を以下に示す。

(17) 私は100 m泳げる。《能力》

(18) 今日は天気がいいので外で遊べる。《外的条件》

(19) 最近体調がいいので長時間歩ける。《内的条件》

「やすい」は(20)のような《外的条件》からの容易さと、(21)のような事態が高い頻度で実現することを表す《傾向》を表すことができる。

(20) このお酒は甘いので飲みやすい。《外的条件》

(21) この道はすべりやすい。《傾向》

しかし、(22) (23) のような《能力》や《内的条件》からの容易さは表すことができないと思われる。

(22) *私は100 m泳ぎやすい。《能力》

(23) *最近体調がいいので長時間歩きやすい。《内的条件》

また、「やすい」で表すことのできる《傾向》を、可能動詞では表すことができ

ないと考えられる。

(24) *この道はすべれる。《傾向》

以上のことを、表にまとめる。

表2 可能と「～やすい」の意味範囲

	可能	～やすい	可能動詞+やすい
能力	○	×	×
内的条件	○	×	×
外的条件	○	○	△
傾向	×	○	×

表2は可能動詞、「～やすい」が表すことのできる意味をまとめたものである。○は表すことのできる意味であり、×は表すことのできない意味である。表せる可能性のあるものを△で示している。

これらのことから考えると、「可能動詞+やすい」が許容され得るのは、可能動詞、「～やすい」両方が表すことのできる意味範囲、つまり《外的条件》であると予測できる。以上のことを前提に、次に用例採集で実際の使用状況を確認する。

4. 用例採集調査

4.1 調査概要

先行研究からの考察をもとに、実際の用例を確認する。調査概要は以下の通りである。

検索エンジン：Twitterの高度な検索

検索日：2021年7月12日

検索対象：「会えやすい」「言えやすい」「作れやすい」「行けやすい」「遊べやすい」「使えやすい」「書けやすい」「飲めやすい」「買えやすい」「働けやすい」「歩けやすい」をそれぞれ話題のツイートから上から30件ずつ採集

表記：「可能動詞（漢字）+やすい」の形で調査した。明らかな変換ミスは除

(78)

外した。「(～に声を書けやすい」など)

4.2 調査結果

採集した用例の中で、「可能動詞+やすい」が《能力》を表しているものは確認されず、《外的条件》を表しているものがほとんどであった。これは考察を裏付ける結果となった。用例を以下に示す。

(25) 人が少なく歩けやすいとか独り暮らしだから影響はあまりないとかいってる場合じゃないよお！ほんとに (Twitter の高度な検索：検索キー「歩けやすい」／下半身凶器なぬれおかき @s_okaki29:2020年3月30日)

(26) おはようございます！ m()m
今日から今週の土曜日までの出勤が有りますけど、天気が最低かもしれないし、最高な天気かもしれないので、気温が低くて働けやすいと思います！
それでは、絶対に頑張ります！ o(^ ^)o (Twitter の高度な検索：検索キー「働けやすい」／あつきー@23日日本国旗東京タワー東京五輪開幕🇯🇵両手を上げる！ @CAkihiro1619 2014年9月8日)

(25) は「人が少ない」という外的な要因によって事態の可能・難易を示しており、(26) は「気温」という一時的な外的条件による事態の可能・難易を意味している。また、わずかではあるが《モノの性質》を表していると思われる用例も確認された。

(27) iPad Pro とアップルペンシルで書くのは楽しいー
書けやすいまじで (Twitter の高度な検索：検索キー「書けやすい」／Jhetner Borja@jhetnah:2019年11月17日)

上の考察では、《内的条件》は表すことができないと予想していたが、《内的条件》として使用されていると考えられる例が確認された。

(28) 無料スクールが前段入っても全く同じ末路を辿る。
まだ有料スクールに入校した方が覚悟も加わるので経験値積める会社で働けやすい。(Twitter の高度な検索：検索キー「働けやすい」／ミヤヒロ

地域進出をなめらかに @miyahiro_flato・2019年2月4日)

(28)は「覚悟が加わる」ことによって事態の可能・難易を表している。これは「覚悟」という心情条件だと解釈すれば《内的条件》と捉えることができる。しかし、「有料スクールに入校すること」が要因だとすると《外的条件》だと捉えることもできる。このことから、表しにくいと考えられる《内的条件》も、《外的条件》と共起することで表すことができるようになる可能性が考えられる。以上の結果を踏まえてアンケート調査を行う。

5. アンケート調査

5.1 調査概要

Google フォームのアンケート機能を用いて「可能動詞+やすい」の許容度について調査した。回答者は10代～20代の若年層142人で、性別と出身地の内訳は以下の通りである。

性別：男性38名、女性104名

出身地：北海道5名、神奈川県1名、富山県1名、静岡県2名、愛知県2名、滋賀県2名、京都府5名、大阪府72名、兵庫県27名、奈良県5名、和歌山県2名、鳥取県2名、島根県1名、岡山県2名、広島県7名、香川県1名、愛媛県1名、宮崎県1名、福岡県2名、鹿児島県2名

「可能動詞+やすい」を含む例文について、「言う」「言わないがおかしくない」「言わないしおかしい」から当てはまるものを選択してもらった。調査項目は以下の通りである。

- [1] ここは明るいので文字が書けやすい。
- [2] 手のけがが治ったので文字が書けやすい。
- [3] 文字が大きいので読めやすい。
- [4] 最近目の調子がいいので小さい字でも読めやすい。
- [5] 家が近いので会えやすい。
- [6] 体調がよくなったので会えやすい。

- [7] 友達と一緒にだと初めての所でも行けやすい。
 [8] 最近体調がいいので学校へ行けやすい。
 [9] LINE だと恥ずかしいことも言えやすい。
 [10] 滑舌がいいので早口言葉が言えやすい。

調査項目は、「可能動詞+やすい」の形で容易さ・困難さを表す例文を設定した。可能動詞にするため、前項動詞は人の動作を表す動詞で意志動詞とした。それぞれ動詞ごとに《外的条件》《内的条件》を読み込むことができる例文を設定した。

また、元の可能文、難易文両方で許容できる例文を作成した。さらに、「やすい」の前項動詞はすべて五段動詞とした。可能形にした際に、ら抜き形の形と助動詞の形のどちらで許容されているかの混乱を避けるためである。可能の形が可能動詞を作ることができる動詞を前項動詞とした。例文で使用した「～やすい」はすべてTwitterで使用が確認されたものである。

5.2 調査結果・分析

図1は「可能動詞+やすい」の調査結果をグラフで示したものである。「言う」「言わないがおかしくない」を許容しているとし、二つを合わせた割合が高いものから順に並べている。〈外〉は〈外的条件〉の例文を表し、〈内〉は〈内的条件〉の例文を表している。

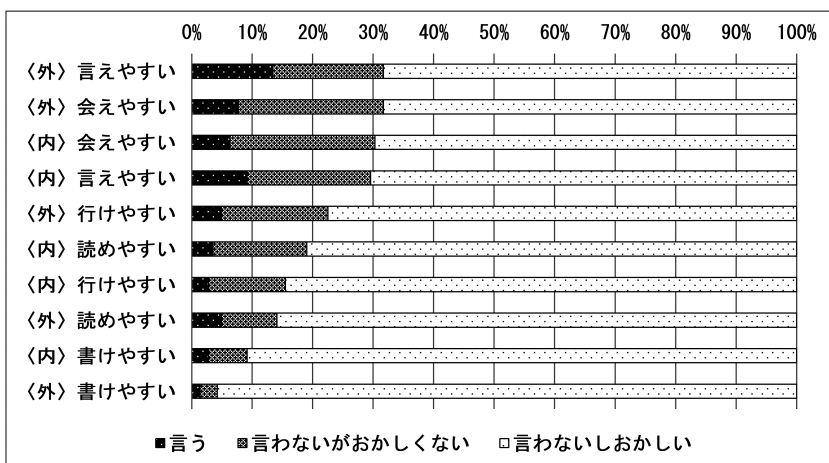


図1 「可能動詞+やすい」の許容度

アンケート結果から、「会う」「言う」の許容度が〈外的条件〉〈内的条件〉共に高いことがわかる。一方で、「書く」は〈外的条件〉でも〈内的条件〉でも許容度が低い。このことから、動詞によって許容度に差が出ていると考えることができるだろう。

動詞という観点で考察すると、「会う」「言う」の許容度が高いという結果になったが、これには《傾向》の意味が関与していると考えられる。本来の難易文の場合、「会えやすい」は「会いやすい」となり、文脈によって二通りの解釈が可能である。以下に一人称を主語に取る「会いやすい」の例文を示す。

(29) (私は) 家が近いので友達に会いやすい。《容易》

(30) (私は) 不審者に会いやすい。《傾向》

(29) の場合は距離が近いため、「会うこと」が容易だと捉えることができる。(30) の場合は「不審者に会うこと」が容易だと捉えるのは難しく、意図せず不審者と遭遇する頻度が高いと捉える方が自然だろう。また、(29) でも頻度が高いと解釈することも可能である。つまり、「会いやすい」は文脈によっては《傾向》と捉えることもできる。同様に「言いやすい」も以下のように《容易》と《傾向》を表すことが可能である。

(31) (私は) LINE だと恥ずかしいことも言えやすい。《容易》

(32) (私は) 嫌なことをされるとはっきり嫌だと言いやすい。《傾向》

一方で「書く」の場合は (33) のように《容易》を表すことはできるが、(34) のように《傾向》を表すことはできないと考えられる。

(33) (私は) ボールペンよりシャーペンの方が書きやすい。《容易》

(34) * (私は) すぐに手紙を書きやすい。《傾向》

以上のことから、《容易》も《傾向》も表すことができる「会いやすい」「言いやすい」は可能動詞にすることで、実現可能性の高さについて表している。つまり《容易》の意味で使用していることを強調することができると考えられる。「書きやすい」はそもそも《傾向》と捉えることは難しく、可能動詞を用いて《容易》を強調する

必要がないため、「やすい」に「書ける」を接続しにくく、許容度が低くなったのではないだろうか。

6. まとめ

本稿では先行研究と用例採集調査から可能動詞と「～やすい」の表す意味的な条件から、二つに共通する条件を「可能動詞+やすい」が満たす場合、「可能動詞+やすい」という表現が使用されやすくなるのではないかと予想した。しかし、許容度のアンケート調査から、「可能動詞+やすい」は意味的な条件というよりは動詞によって許容されやすさに差が出るのが明らかになった。「～やすい」は前項動詞によっては《容易》と《傾向》二つの意味を表すことができ、《容易》の意味を強調する場合、「可能動詞+やすい」になりやすいことがわかった。「～やすい」と同じく難易を表す「～にくい」についても同じような結果が得られるのかについては今後の課題としたい。

注

- 1) 検索キーは、語彙素「易い」+前方共起条件活用型「助動詞-レル」、語彙素「易い」+前方共起条件品詞「動詞」+活用型「下一段」+活用形「連用形」。「やすい」の前接部分が可能の意味で使用されているかは目視により確認した。
- 2) 検索方法、用例の確認については注1と同じである。

参考文献

- 宇野和 (2015) 「Twitter における「新しいミ形」」『國文』123、お茶の水女子大学国語国文学会。
- 加藤重広 (2003) 「語用論的に見た「可能」の意味」『富山大学人文学部紀要』38、富山大学人文学部
- 加藤紀子 (2001) 「日本語の可能・自発と難易文」『意味と形のインターフェイス 中右実教授還暦記念論文集』くろしお出版
- 佐野真一郎 (2009) 「現代日本語のヴォイスにおける進行中の言語変化に関する数量的研究—「ら抜き言葉」、「さ入れ言葉」、「れ足す言葉」を例として—」『Sophia linguistica : working papers in linguistics』57、上智大学大学院言語学研究室
- 渋谷勝己 (1993) 「日本語可能表現の諸相と発展」『大阪大学文学部紀要』33-1、大

阪大学文学部

日本語記述文法研究会編 (2009) 『現代日本語文法 2 格と構文／ヴォイス』 くら
しお出版

前川喜久雄 (2004) 「『日本語話し言葉コーパス』の概要」『日本語科学』15、国立
国語研究所

水野みのり (2017) 「ネット集団語における接尾辞「-み」の語基拡張」『東京外国
語大学記述言語学論集』13、東京外国語大学言語文化学部

(たかはら あい／本学大学院生)